

# Read to Earnプラットフォーム「Shadow Books」がリリース。第1弾として伊藤穰一氏著「テクノロジーが予測する未来」をサポート、NFTコレクション「カゲレオン」も発行開始



## Let's join “Read to Earn”

Shadow Booksは書籍購入者を対象にオリジナルNFTを発行できる「Read to Earn」プラットフォームです。書籍のISBNコードとウォレットによる署名だけで簡単にNFT特典を提供することができます。

ISBNコードとウォレットコネクットの融合により実現した”Read to Earn”プラットフォーム「Shadow Books」をリリースしました。第一弾として伊藤穰一氏の著書「テクノロジーが予測する未来」をサポートし、NFTコレクション「カゲレオン」の発行を開始します。

- Shadow Books ウェブサイト: <https://shadow-books.com/>
- Shadow Books ホワイトペーパー: <https://docs.shadow-books.com/>
- Shadow Books Twitter: <https://twitter.com/0xshadowbooks>

## Shadow Booksとは

Shadow Booksは、対応書籍の購入者だけがNFTを発行できる「Read to Earn」プラットフォームです。書籍に一意のISBNコードとウォレットによる署名だけで簡単にNFT特典を提供することができます。

Shadow Booksの対応する書籍の第一弾として、伊藤穰一氏の著書「テクノロジーが予測する未来」をサポートします。「テクノロジーが予測する未来」の読者は、[Shadow Booksのウェブサイト](https://shadow-books.com/)を通して、書籍に記載のISBNコードと自身のウォレットを接続することで、NFTコレクション「カゲレオン」を発行することが可能です。

Shadow Booksのウェブサイトはこちら: <https://shadow-books.com/>

Shadow Booksのホワイトペーパーはこちら: <https://docs.shadow-books.com/>

Shadow BooksのTwitterアカウントはこちら: <https://twitter.com/0xshadowbooks>

## Read to Earnとは

Play to EarnやMove to Earn、Learn to Earnなどで知られるトークンエコノミーですが、Shadow Booksではより多くのユーザーを対象にすべく書籍との融合を意味する「Read to Earn」のコンセプトを手掛けています。

文字通り、Play to Earnはゲームをする、Move to Earnは歩く、Learn to Earnは学ぶことがトリガーとなっているように、Read to Earnは読むことがトリガーとなっています。

## NFTコレクション「カゲレオン」

NFTコレクション「カゲレオン」の由来は、Shadow BooksのShadow(カゲ)と、さまざまな独自の色を持つ書籍コミュニティの醸成を願って、変幻自在のカメレオンをモチーフにしました。

カゲレオンの発行上限は「16,465」に設定されています。つまり、最大16,465人しかカゲレオンを保有することができません。これは、読者の中でもさらに質の高いコミュニティを形成するためのものです。



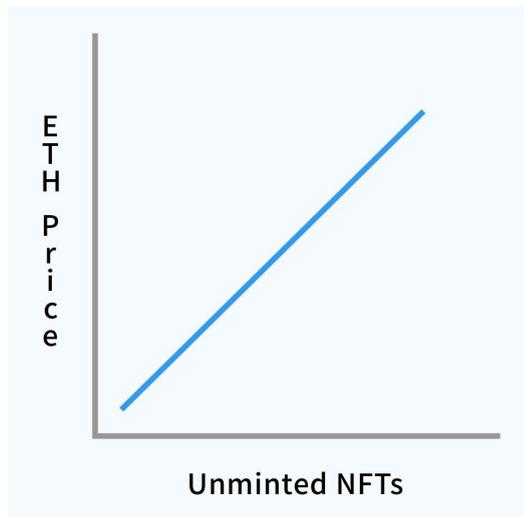
テストネットで発行されたカゲレオンの例

## カゲレオンの発行価格

カゲレオンNFTの発行には、イーサリアムの手数料(ガス代)に加えて一定のETHが必要です。具体的には、0.05ETHからスタートして10個発行されるごとに0.05ETHずつ値上がりしていきます。

- 1~10個目 : 0.05 ETH
- 11~20個目 : 0.1 ETH
- 21~30個目 : 0.15 ETH

これは、Bonding CurveにおけるLinearグラフとして定義することができます。一般的にLinear型の場合、一次関数の線形グラフが生成されます。カゲレオンNFTでは、発行上限(16465個)に占める発行量が増加するにつれて、未発行のNFT価格が上昇する数式を定義しました。



つまり、早期に発行するほど低い金額でNFTを発行できるということです。これは、NFTを低い金額で発行したことが、その書籍のファンとしての意欲の高さや、その書籍の良さにいち早く気づいたことの証明に繋がります。

## Shadow BooksとRead to Earnで実現したいこと

Shadow Booksは、次のような課題を解決するために誕生しました。

- 書籍は人類の遺産とも言えるほどの価値を持つのに出版後はあまり有効活用されていない
- 全ての書籍には熱狂的なファンがいるのに、同じ愛読書を持つファンのコミュニティが形成されていない(読者同士の交流が生まれにくい)
- 出版記念イベント以外に、著者と読者のインタラクティブな接点をもっとあっている
- 電子書籍は普及したものの、まだまだ書籍とデジタルの世界は切り離されている
- 長い時間をかけて執筆をする一方で、著者に収益がほとんど入らない(一般的に著者に入る収益は6~8%となっている)
- 二次流通市場での転売が一般的となり新書が売れづらくなった(ますます著者に収益が入らない)

Shadow Booksは、ISBNコードという書籍ごとに一意のデータを活用し、それをウォレットアドレスという一意のデジタルデータと紐づけることにより、書籍ごとに熱量の高い読者コミュニティをNFTと共に作り上げます。

## Shadow Booksについて

Shadow Booksは、書籍購入者を対象にオリジナルNFTを発行できる「Read to Earn」プラットフォームです。書籍のISBNコードとウォレットによる署名だけで簡単にNFT特典を提供することができます。

- Shadow Books ウェブサイト: <https://shadow-books.com/>
- Shadow Books ホワイトペーパー: <https://docs.shadow-books.com/>
- Shadow Books Twitter: <https://twitter.com/0xshadowbooks>